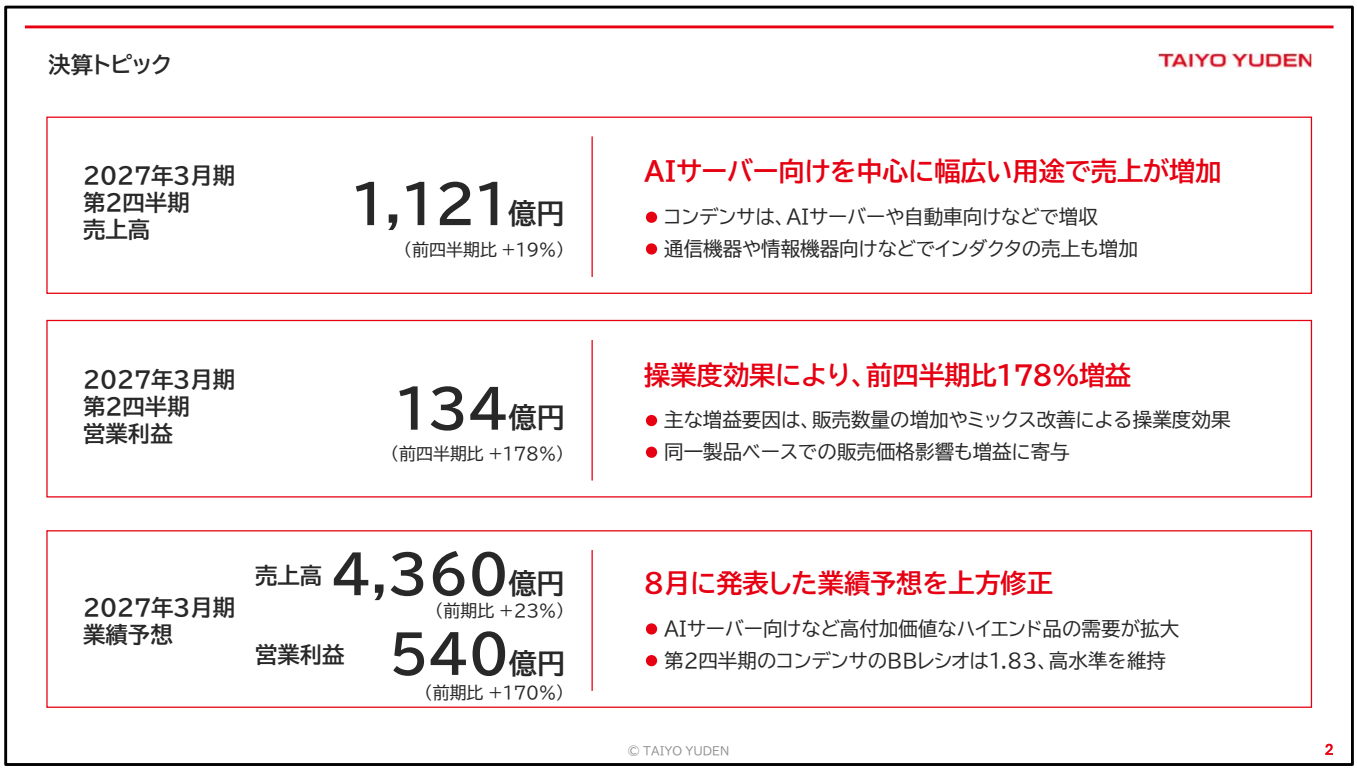
TAIYO YUDEN

2027年3月期
第2四半期決算説明会

太陽誘電株式会社
取締役専務執行役員
福田 智光

2026年11月5日

太陽誘電の福田です。
それでは、2027年3月期第2四半期決算についてご説明いたします。



2027年3月期第2四半期は、AIサーバー向けを中心に幅広い用途で売上が増加し、
前四半期に対して19%の増収、営業利益は同178%の増益となり、
いずれも8月時点の想定を上回る結果となりました。
主な増益要因は、販売数量の増加や、高付加価値商品の増加に伴う
ミックス改善による操業度効果です。
また、同一製品ベースでの販売価格影響についても、増益要因となりました。

今回、8月に発表した業績予想を上方修正いたしました。
新たな業績予想では、前期比で売上高23%増、営業利益170%増の
大幅な増収増益を目指します。
第2四半期のコンデンサのBBレシオは1.83と旺盛な需要が継続しており、
特にAIサーバー向けの高付加価値なハイエンド品が
当社の業績拡大をけん引していくことが見込まれます。

TAIYO YUDEN

2027年3月期第2四半期
連結業績概要

© TAIYO YUDEN

2027年3月期第2四半期　連結業績概要

TAIYO YUDEN

- コンデンサやインダクタを中心に売上が増加。前四半期比19%増収、営業利益は178%増益
- 為替変動による影響は、前年同期ベースで売上高+87億円、営業利益+51億円。前四半期ベースでは売上高+12億円、営業利益+9億円

(百万円)	2026年3月期 第2四半期	2027年3月期 第1四半期	2027年3月期 第2四半期	前年同期比 増減	前年同期比 増減率	前四半期比 増減	前四半期比 増減率
売上高	92,813	93,897	112,136	19,323	20.8%	18,238	19.4%
営業利益	5,881	4,818	13,378	7,496	127.5%	8,560	177.7%
営業利益率	6.3%	5.1%	11.9%	5.6%pt	-	6.8%pt	-
経常利益	7,849	4,263	11,642	3,793	48.3%	7,379	173.1%
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,416	2,504	5,631	△785	△12.2%	3,126	124.8%
対米ドル為替レート	146.33円	158.80円	160.71円	14.38円	-	1.91円	-
研究開発費	3,600	3,401	3,365	△235	△6.5%	△36	△1.1%
設備投資額	8,667	7,083	6,333	△2,334	△26.9%	△750	△10.6%
減価償却費	12,054	11,914	12,072	17	0.1%	157	1.3%

© TAIYO YUDEN

売上高は1,121億円、営業利益は134億円でした。

四半期末の為替レートが、6月末の1米ドル162円台に対して
9月末は157円台と円高になったため、
営業外費用として17億円の為替差損を計上し、経常利益は116億円となりました。

また、海外子会社における訴訟に伴う損失負担を見込んだ引当金28億円などの
特別損失を計上したことなどにより、
親会社株主に帰属する四半期純利益は56億円でした。

期中平均の為替レートは1米ドル160円台で、前四半期に対して約2円の円安でした。
これにより、売上高に対してプラス12億円、営業利益に対してプラス9億円の
影響がありました。

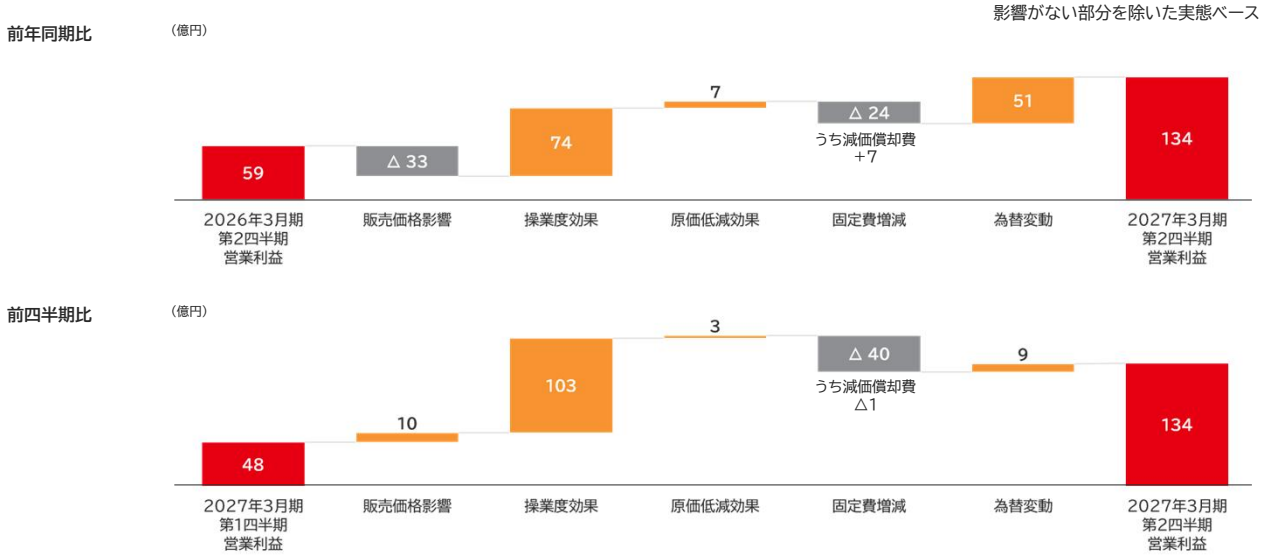
研究開発費、設備投資額、減価償却費は、いずれも計画通り進捗しております。

2027年3月期第2四半期　営業利益増減要因

TAIYO YUDEN

- 前四半期比の操業度効果は+103億円。販売数量の増加とミックス改善が増益に寄与。棚卸資産(※)は前四半期末から12億円減少
- 前四半期比での同一製品ベースの価格変動が増益要因に転じ、営業利益を10億円押し上げ

※棚卸資産の増減額は、為替や利益に影響がない部分を除いた実態ベース



© TAIYO YUDEN

前四半期に対する営業利益の増減要因についてご説明いたします。
下のグラフをご覧ください。

主な増益要因は、操業度効果103億円です。
販売数量の増加や、高付加価値商品の増加に伴うミックス改善が増益に寄与しました。
棚卸資産につきましては、8月時点の計画において10億円程度積み増す予定でしたが、
売上が想定を上回ったことにより、前四半期末から12億円減少しました。

また、販売価格影響も10億円の増益要因となりました。
第1四半期まで、同一製品の値下がりペースは徐々に緩やかになってきていましたが、
この第2四半期において上昇に転じました。
需給ひっ迫状況での値下げ圧力の緩和に加え、
原材料価格高騰の影響を受けるアイテムや低収益アイテムなどを中心とした
価格改定を進めています。

このほか、原価低減効果3億円と、円安による為替影響9億円も増益に寄与しました。

一方、生産増や能力増強に伴う固定費の増加40億円が減益要因となりました。

その結果、営業利益は前四半期から86億円増加し、134億円となりました。

2027年3月期第2四半期　製品別売上

TAIYO YUDEN

- コンデンサは前四半期比21%増収。AIサーバーをはじめとする情報インフラ・産業機器や自動車向けなど全ての用途分野で売上を伸ばす
- インダクタも全用途分野で売上拡大、前四半期比18%増収。特に、スマートフォンなどの通信機器やメモリモジュールなどの情報機器向けが好調
- その他は、アルミニウム電解コンデンサや通信用デバイスの売上が増加し、前四半期比12%増収

(百万円)	2026年3月期 第2四半期	2027年3月期 第1四半期	2027年3月期 第2四半期	前年同期比		前四半期比	
				増減	増減率	増減	増減率
売上高	92,813	93,897	112,136	19,323	20.8%	18,238	19.4%
コンデンサ	65,908	69,022	83,314	17,405	26.4%	14,291	20.7%
インダクタ	16,652	15,934	18,820	2,167	13.0%	2,885	18.1%
その他	10,251	8,941	10,002	△249	△2.4%	1,061	11.9%

© TAIYO YUDEN

コンデンサの売上高は、前四半期から21%増加し、833億円でした。
AIサーバーを含む情報インフラ・産業機器に加え、
自動車、通信機器、情報機器、民生機器の全用途分野で売上が増加しました。

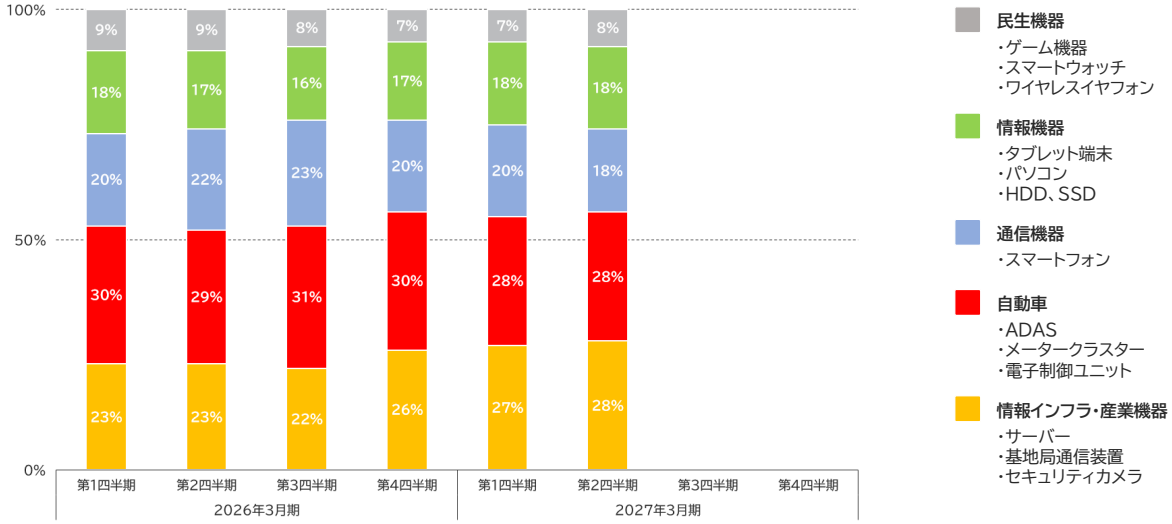
同じくインダクタも全ての用途分野で売上が増加し、同18%増収の188億円でした。
特に、ハイエンドスマートフォンなどの通信機器と
メモリモジュールに代表される情報機器向けが売上の拡大を牽引しました。

また、その他の売上高は同12%増収の100億円で、
アルミニウム電解コンデンサ、通信用デバイスともに増加しました。

用途別売上構成

TAIYO YUDEN

- 全ての用途分野において、前四半期比増収
- 情報インフラ・産業機器は、AIサーバー向けのコンデンサが売上拡大をけん引
- 当社が注力する情報インフラ・産業機器と自動車の売上構成比は合計56%、高水準を維持



© TAIYO YUDEN

第2四半期は、第1四半期に対して全ての用途分野で売上が拡大しました。

特に、AIサーバー向けコンデンサの力強い需要拡大が続いていることから、
当社が注力する情報インフラ・産業機器の売上構成比は28%に上昇しました。
また、同じく注力市場である自動車も28%で、両市場を合わせると56%となり、
高い水準を維持しています。

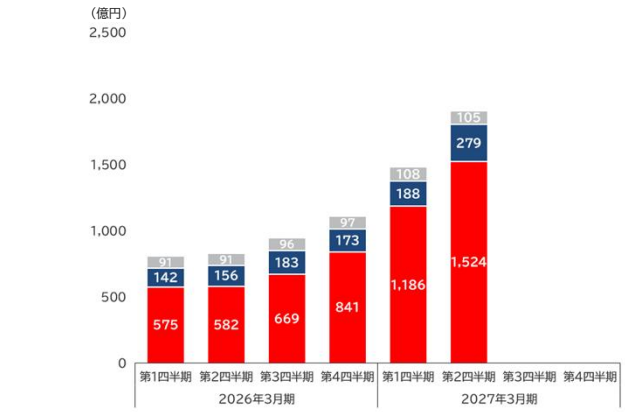
通信機器と情報機器の売上構成比はそれぞれ18%、民生機器は8%でした。

受注高・受注残高

TAIYO YUDEN

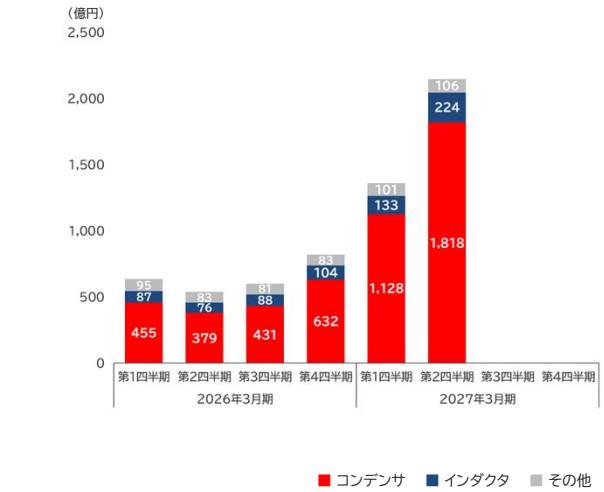
- コンデンサの受注高は前四半期比28%増、受注残高は同61%増と大幅に増加
- コンデンサの受注は、AIサーバーを含む情報インフラ・産業機器やメモリモジュールなどの情報機器向けを中心に増加
- 全社のBBレシオは1.70、コンデンサは1.83まで上昇。4四半期連続で受注高が売上高を上回り、旺盛な需要が継続

受注高の推移



BBレシオ(全社)	0.95	0.89	1.07	1.25	1.58	1.70		
BBレシオ(コンデンサ)	0.95	0.88	1.08	1.31	1.72	1.83		

受注残高の推移



© TAIYO YUDEN

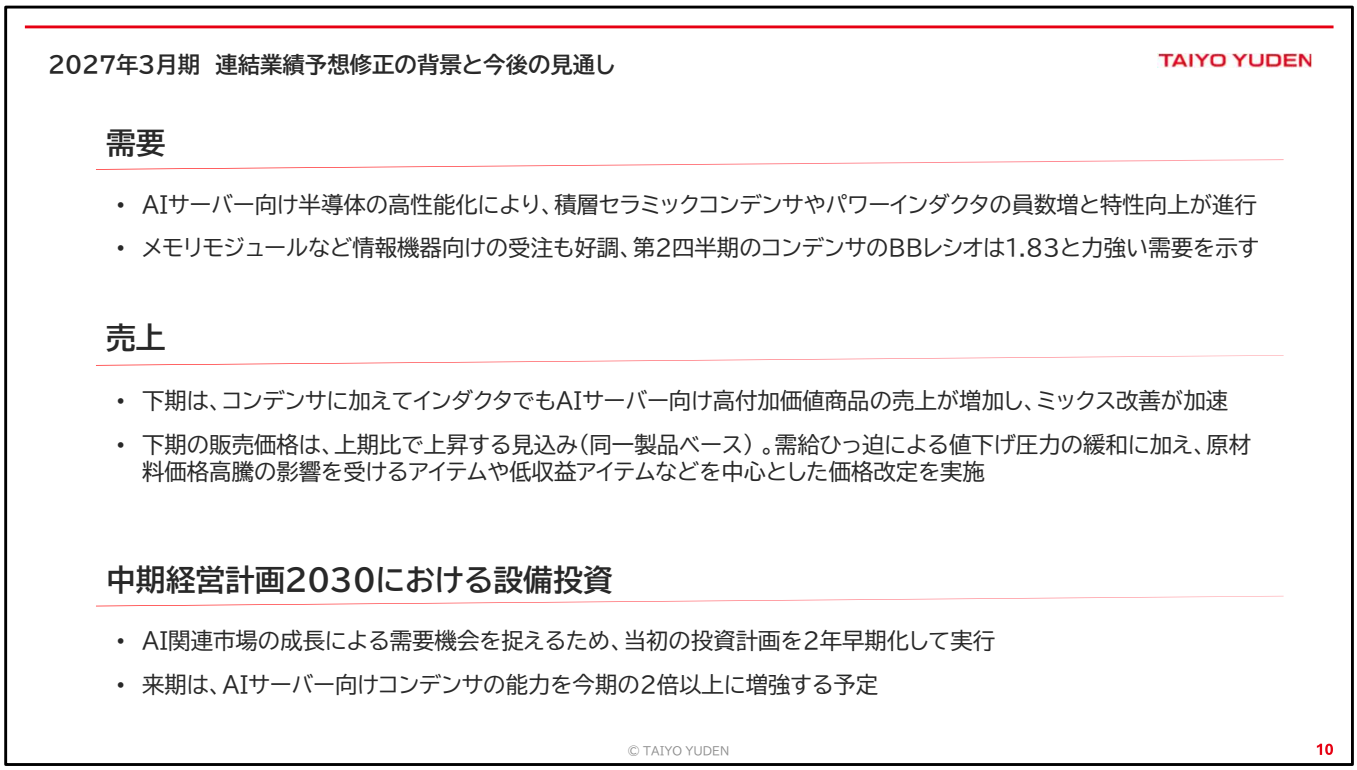
コンデンサの受注高は、前四半期から28%増、受注残高は同61%増と、
大幅な増加が続いています。
AIサーバーをはじめとする情報インフラ・産業機器、
メモリモジュールなどの情報機器向けを中心に力強く伸びています。
AIサーバーを中心とした需要増に加え、長納期の受注が増加しています。

売上高に対する受注高の割合を示すBBレシオは、
全社で1.70、コンデンサは1.83といずれも受注高が大きく上回る状況が続いており、
旺盛な需要を示しています。

TAIYO YUDEN

2027年3月期
連結業績予想

© TAIYO YUDEN



今回、業績予想を上方修正した背景についてご説明いたします。

AIサーバーに搭載される半導体の高性能化に伴い、
消費電力の増加や発熱などの課題解決のために
積層セラミックコンデンサやパワーインダクタの員数増加やハイエンド化が進行し、
旺盛な需要が続くと予想しています。
先ほど申し上げた通り、第2四半期のコンデンサのBBレシオは1.83と高水準で、
この先の力強い業績拡大を示しています。

AIサーバーには、当社の得意分野であるハイエンド品が多く使用されることから、
今後もミックス改善が一段と進むと予測しています。
また、第2四半期同様、下期も同一製品ベースの販売価格の上昇が続く見込みです。

次に、今後の設備投資の見通しについてご説明いたします。
当社の中期経営計画2030がスタートして半年が経過しましたが、
投資計画を2年早期化して実行する判断を下しました。
AI関連市場の成長は、計画策定時の需要予測を大幅に上回るペースで進行しています。
こうした需要機会を確実に捉えるため、
来期もAIサーバー向けアイテムのボトルネック解消に集中的に投資することで、
AIサーバー向けコンデンサの能力を今期に対して2倍以上に増強する予定です。
最先端品の生産能力増強を加速することで、AI関連技術の進化と市場拡大に
貢献してまいります。

2027年3月期 連結業績予想

TAIYO YUDEN

- AIサーバー向けなど高付加価値なハイエンド品の需要拡大や販売価格影響などにより、8月に発表した業績予想を上方修正
- 為替感応度は、米ドル1円の変動により年間で売上高19億円、営業利益9億円の影響を想定

(百万円)	2026年3月期 実績	2027年3月期 前回予想	2027年3月期 今回予想	前期比 増減	前期比 増減率	前回予想比 増減	前回予想比 増減率
売上高	355,341	424,000	436,000	80,659	22.7%	12,000	2.8%
営業利益	19,996	45,000	54,000	34,004	170.0%	9,000	20.0%
営業利益率	5.6%	10.6%	12.4%	6.8%pt	-	1.8%pt	-
経常利益	24,129	42,000	50,000	25,871	107.2%	8,000	19.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	14,806	29,000	35,000	20,194	136.4%	6,000	20.7%
対米ドル為替レート	149.99円	159.70円	157.88円	7.89円	-	△1.82円	-
研究開発費	14,474	15,000	15,000	526	3.6%	0	0.0%
設備投資額	40,416	42,000	42,000	1,584	3.9%	0	0.0%
減価償却費	49,148	50,000	50,000	852	1.7%	0	0.0%

© TAIYO YUDEN

2027年3月期の業績予想は、売上高が4,360億円、営業利益が540億円、
経常利益が500億円、親会社株主に帰属する当期純利益が350億円で、
前期に対して大幅な増収増益となる見込みです。

設備投資額につきましては8月に一度上方修正しており、今回は変更ありません。

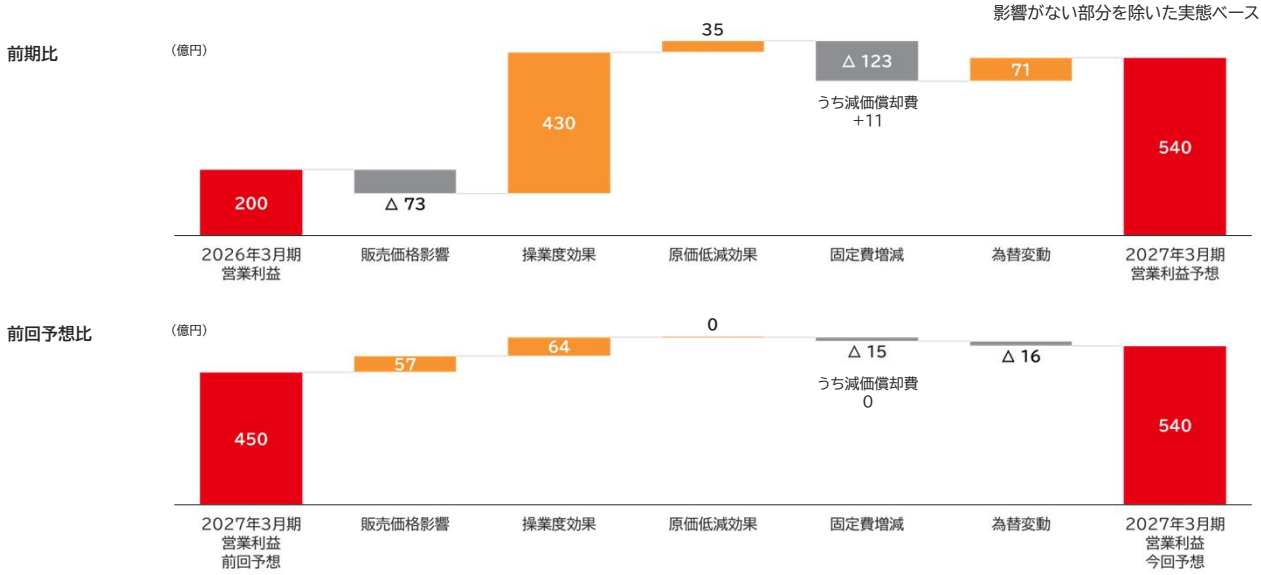
第3四半期以降の為替レートの前提は、1米ドル156円です。

2027年3月期　営業利益予想増減要因

TAIYO YUDEN

- 前期比：販売数量の増加やミックス改善による操業度効果が増益に大きく貢献。期末の棚卸資産（※）は前期末から10億円減少する見通し
- 前回予想比：同一製品の値下がりペースがさらに緩和される見込み

※棚卸資産の増減額は、為替や利益に影響がない部分を除いた実態ベース



© TAIYO YUDEN

営業利益の前期比での増減要因は、上のグラフの通りです。
販売数量増やミックス改善などにより、
操業度効果で430億円の増益影響を見込んでいます。
また、為替変動71億円、原価低減効果35億円も増益要因となります。

前回予想からの変化は、下のグラフをご覧ください。
上方修正の主な要因は、操業度効果64億円と値下がり影響の軽減57億円です。
円高の影響や生産増に伴う関連費用の増加といった減益要因を吸収し、
営業利益を前回予想から90億円上方修正しました。

なお、期末の棚卸資産は前期末から10億円減少する見込みです。
前回予想では30億円増加させる計画でしたが、出荷増による減少を見込んでいます。

2027年3月期　製品別売上予想

TAIYO YUDEN

- コンデンサは前期比29%、インダクタは16%の増収を計画。情報インフラ・産業機器や情報機器向けを中心に上方修正
- インダクタは、AIサーバー向け新商品の出荷が前倒しでスタート。来期には売上拡大がさらに加速する見込み

(百万円)	2026年3月期 実績	2027年3月期 前回予想	2027年3月期 今回予想	前期比 増減	前期比 増減率	前回予想比 増減	前回予想比 増減率
売上高	355,341	424,000	436,000	80,659	22.7%	12,000	2.8%
コンデンサ	251,771	316,500	324,500	72,729	28.9%	8,000	2.5%
インダクタ	64,319	71,500	74,500	10,181	15.8%	3,000	4.2%
その他	39,249	36,000	37,000	△2,249	△5.7%	1,000	2.8%

© TAIYO YUDEN

製品別の売上予想は、いずれも前回予想に対して上方修正しました。
コンデンサ、インダクタともに、情報インフラ・産業機器や情報機器向けを中心に
売上予想を引き上げました。
前期比の増収率は、コンデンサが29%、インダクタが16%となります。

インダクタにつきましては、AIサーバー向けの新商品の出荷が
今期から前倒しで始まったことで売上が徐々に拡大し、
来期にはさらなる成長が期待できると考えております。

2027年3月期第3四半期　売上予想

TAIYO YUDEN

- コンデンサとインダクタは、情報インフラ・産業機器向けなどで売上が増加する見込み
- 12月末の棚卸資産（※）は、9月末とほぼ同水準となる見通し

※棚卸資産の増減額は、為替や利益に影響がない部分を除いた実態ベース

（百万円）	2027年3月期 第2四半期 実績	2027年3月期 第3四半期 予想増減率
売上高	112,136	±0%～+4%
コンデンサ	83,314	+1%～+5%
インダクタ	18,820	+1%～+5%
その他	10,002	△12%～△8%
対米ドル為替レート	160.71円	156.00円

© TAIYO YUDEN

第3四半期の全社の売上は、第2四半期と同水準～4%の増収となる見込みです。

コンデンサとインダクタは、情報インフラ・産業機器向けを中心とした
売上拡大を見込んでいます。
一方、その他はアルミニウム電解コンデンサ、通信用デバイスともに
減収となる見込みです。

なお、12月末の棚卸資産は9月末とほぼ同水準となる見通しです。

最後に、TDK株式会社との業務提携に関する基本合意についてご説明いたします。
9月29日に発表した通り、AIデータセンターやフィジカルAI向けの
需要拡大に対応するため、最先端の積層セラミックコンデンサやインダクタなどの
電子部品の共同開発を主軸に据え、製造や調達での連携も含む
包括的な業務提携に関して、現在、両社間で協議を進めています。
具体的な内容につきましては、決まり次第ご説明させていただきます。

Appendix

© TAIYO YUDEN

株主還元

TAIYO YUDEN

- 配当性向30%、DOE3.5%を基本方針として、責任ある株主還元に努める
- 2027年3月期の一株当たり配当金額予想は90円を維持。配当性向34.5%、DOE3.7%の水準

2027年3月期
1株当たり配当金額(予想)

90円

		2022年3月期 実績	2023年3月期 実績	2024年3月期 実績	2025年3月期 実績	2026年3月期 実績	2027年3月期 予想
配当金額	(円)	80	90	90	90	90	90
配当性向	(%)	18.5	48.3	134.8	482.1	76.0	34.5
DOE	(%)	3.7	3.8	3.7	3.8	3.8	3.7
自己株式取得額	(億円)	50	0	0	0	0	-

© TAIYO YUDEN

2027年3月期第2四半期累計　連結業績概要

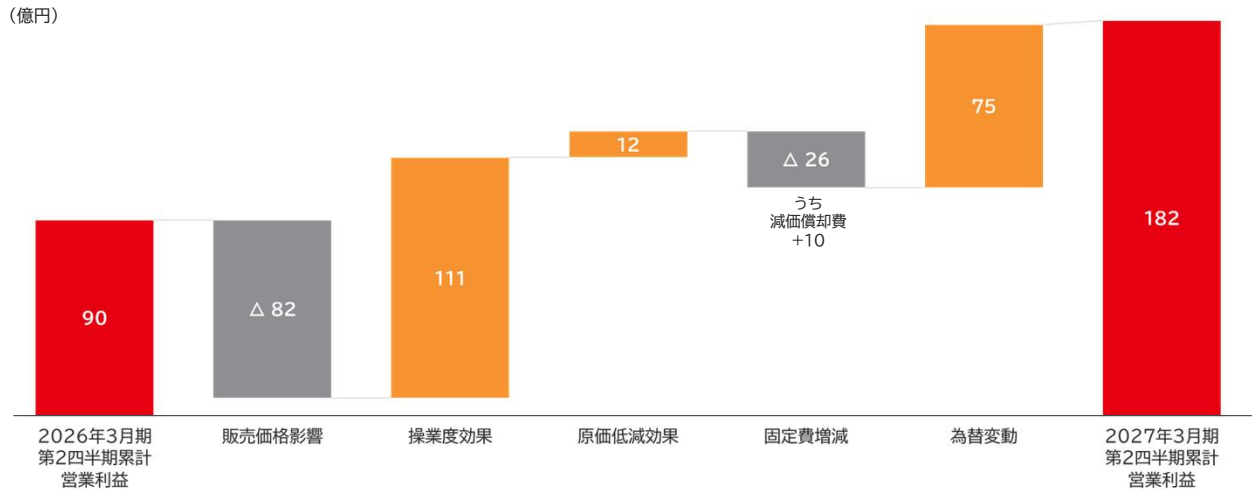
TAIYO YUDEN

(百万円)	2026年3月期 第2四半期累計	2027年3月期 第2四半期累計	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	177,624	206,034	28,410	16.0%
営業利益	9,024	18,196	9,172	101.6%
営業利益率	5.1%	8.8%	3.7%pt	-
経常利益	8,106	15,906	7,800	96.2%
親会社株主に帰属する中間純利益	5,540	8,135	2,595	46.8%
対米ドル為替レート	146.26円	159.76円	13.50円	-
研究開発費	7,186	6,766	△419	△5.8%
設備投資額	19,598	13,417	△6,180	△31.5%
減価償却費	23,487	23,986	499	2.1%

© TAIYO YUDEN

2027年3月期第2四半期累計　営業利益増減要因

TAIYO YUDEN



© TAIYO YUDEN

2027年3月期第2四半期累計　製品別売上

TAIYO YUDEN

(百万円)	2026年3月期 第2四半期累計	2027年3月期 第2四半期累計	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	177,624	206,034	28,410	16.0%
コンデンサ	126,106	152,336	26,230	20.8%
インダクタ	31,492	34,754	3,262	10.4%
その他	20,024	18,943	△1,081	△5.4%

© TAIYO YUDEN

要約損益計算書

TAIYO YUDEN

(百万円)	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
売上高	349,636	319,504	322,647	341,438	355,341
(y/y)	16.2%	△8.6%	1.0%	5.8%	4.1%
コンデンサ	230,383	208,115	205,829	232,066	251,771
(y/y)	18.0%	△9.7%	△1.1%	12.7%	8.5%
インダクタ	48,925	52,866	55,566	61,546	64,319
(y/y)	17.7%	8.1%	5.1%	10.8%	4.5%
その他	70,327	58,522	61,251	47,825	39,249
(y/y)	9.6%	△16.8%	4.7%	△21.9%	△17.9%
売上総利益	124,981	87,419	65,456	71,570	81,928
売上総利益率	35.7%	27.4%	20.3%	21.0%	23.1%
販売費及び一般管理費	56,763	55,438	56,376	61,110	61,932
販売費及び一般管理費率	16.2%	17.4%	17.5%	17.9%	17.4%
営業利益	68,218	31,980	9,079	10,459	19,996
営業利益率	19.5%	10.0%	2.8%	3.1%	5.6%
(y/y)	67.3%	△53.1%	△71.6%	15.2%	91.2%
経常利益	72,191	34,832	13,757	10,517	24,129
親会社株主に帰属する当期純利益	54,361	23,216	8,317	2,328	14,806
親会社株主に帰属する当期純利益率	15.5%	7.3%	2.6%	0.7%	4.2%
(y/y)	90.0%	△57.3%	△64.2%	△72.0%	535.9%
ROE	20.0%	7.5%	2.6%	0.7%	4.5%
ROA	16.4%	7.1%	2.5%	1.8%	4.1%
ROIC	15.7%	5.9%	1.9%	0.5%	3.0%
対米ドル為替レート	111.56円	134.20円	143.32円	152.61円	149.99円

© TAIYO YUDEN

要約四半期損益計算書

TAIYO YUDEN

(百万円)	2025年3月期 第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	2026年3月期 第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	2027年3月期 第1四半期	第2四半期
売上高	81,138	86,718	86,868	86,713	84,810	92,813	88,515	89,201	93,897	112,136
(y/y)	11.7%	4.7%	0.6%	7.3%	4.5%	7.0%	1.9%	2.9%	10.7%	20.8%
(q/q)	0.4%	6.9%	0.2%	△0.2%	△2.2%	9.4%	△4.6%	0.8%	5.3%	19.4%
コンデンサ	55,192	58,278	58,317	60,277	60,197	65,908	61,702	63,962	69,022	83,314
(y/y)	17.1%	12.2%	7.6%	14.7%	9.1%	13.1%	5.8%	6.1%	14.7%	26.4%
(q/q)	5.0%	5.6%	0.1%	3.4%	△0.1%	9.5%	△6.4%	3.7%	7.9%	20.7%
インダクタ	13,011	15,963	17,471	15,100	14,839	16,652	17,132	15,694	15,934	18,820
(y/y)	18.5%	1.4%	7.9%	19.4%	14.1%	4.3%	△1.9%	3.9%	7.4%	13.0%
(q/q)	2.9%	22.7%	9.5%	△13.6%	△1.7%	12.2%	2.9%	△8.4%	1.5%	18.1%
その他	12,934	12,476	11,078	11,335	9,773	10,251	9,680	9,544	8,941	10,002
(y/y)	△10.8%	△17.5%	△30.8%	△27.5%	△24.4%	△17.8%	△12.6%	△15.8%	△8.5%	△2.4%
(q/q)	△17.3%	△3.5%	△11.2%	2.3%	△13.8%	4.9%	△5.6%	△1.4%	△6.3%	11.9%
売上総利益	17,482	19,884	16,342	17,861	18,184	21,472	22,955	19,317	21,395	30,948
売上総利益率	21.5%	22.9%	18.8%	20.6%	21.4%	23.1%	25.9%	21.7%	22.8%	27.6%
販売費及び一般管理費	14,851	14,938	15,516	15,804	15,042	15,590	15,460	15,839	16,577	17,570
販売費及び一般管理費率	18.3%	17.2%	17.9%	18.2%	17.7%	16.8%	17.5%	17.8%	17.7%	15.7%
営業利益	2,630	4,945	825	2,057	3,142	5,881	7,494	3,477	4,818	13,378
営業利益率	3.2%	5.7%	1.0%	2.4%	3.7%	6.3%	8.5%	3.9%	5.1%	11.9%
(y/y)	-	81.7%	△83.1%	1.0%	19.4%	18.9%	807.6%	69.0%	53.3%	127.5%
(q/q)	29.2%	88.0%	△83.3%	149.1%	52.7%	87.2%	27.4%	△53.6%	38.6%	177.7%
経常利益	8,377	△1,617	6,925	△3,167	256	7,849	11,694	4,328	4,263	11,642
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,309	△2,741	4,598	△5,837	△876	6,416	7,086	2,179	2,504	5,631
親会社株主に帰属する四半期純利益率	7.8%	△3.2%	5.3%	△6.7%	△1.0%	6.9%	8.0%	2.4%	2.7%	5.0%
(y/y)	598.6%	-	-	-	-	-	54.1%	-	-	△12.2%
(q/q)	35.9%	-	-	-	-	-	10.4%	△69.2%	14.9%	124.8%
対米ドル為替レート	153.15円	154.14円	149.04円	154.11円	146.18円	146.33円	151.50円	155.95円	158.80円	160.71円

© TAIYO YUDEN

要約貸借対照表およびキャッシュ・フロー計算書

TAIYO YUDEN

(百万円)	2022年3月末	2023年3月末	2024年3月末	2025年3月末	2026年3月末	2026年9月末
資産合計	474,522	503,462	579,686	573,188	615,536	633,672
現金及び預金	92,570	87,197	102,783	78,166	100,072	113,986
受取手形及び売掛金	86,585	70,372	81,199	80,549	86,366	96,773
棚卸資産	96,781	104,815	102,336	110,027	125,836	127,698
有形固定資産	184,936	220,590	273,556	286,837	289,967	277,925
負債合計	174,235	184,984	249,587	254,017	271,123	250,425
支払手形及び買掛金	32,828	23,012	29,745	27,157	26,477	26,230
有利子負債	72,985	98,936	148,845	164,401	171,213	135,218
純資産合計	300,286	318,478	330,098	319,171	344,412	383,247
自己資本比率	63.1%	63.1%	56.8%	55.6%	56.0%	60.5%
ネットキャッシュ	19,585	△11,738	△46,062	△86,235	△71,140	△21,231
D/Eレシオ	0.24	0.31	0.45	0.52	0.50	0.35

(百万円)	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期 第2四半期累計
フリーキャッシュ・フロー	16,693	△20,977	△31,689	△29,586	32,421	20,159
営業活動によるキャッシュ・フロー	67,315	39,460	51,104	33,941	58,117	31,989
投資活動によるキャッシュ・フロー	△50,622	△60,438	△82,793	△63,527	△25,695	△11,829
財務活動によるキャッシュ・フロー	△14,711	14,485	37,647	3,048	△6,828	△6,798

© TAIYO YUDEN

当資料に記載されている、当社（太陽誘電株式会社、および当社グループ）に関する計画、業績見通し、戦略、確信等のうち、将来の記述をはじめとする歴史的事実ではないものは、すべて現在、当社が入手している情報に基づいて行った予測、想定、認識等を基礎として記載しているものであり、その性質上、客観的に正確であるという保証、ならびに将来その通りに実現するという保証はありません。実際の業績は、数々の要素により、現状の見通し等とは大きく異なる結果となりえ、かつ、当社が事業活動の中心とするエレクトロニクス市場は変動性が激しいことからも、当資料に全面的に依拠することはお控えくださるようお願いいたします。

© TAIYO YUDEN

TAIYO YUDEN